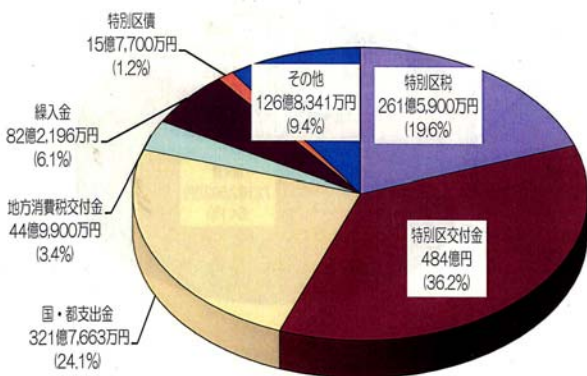


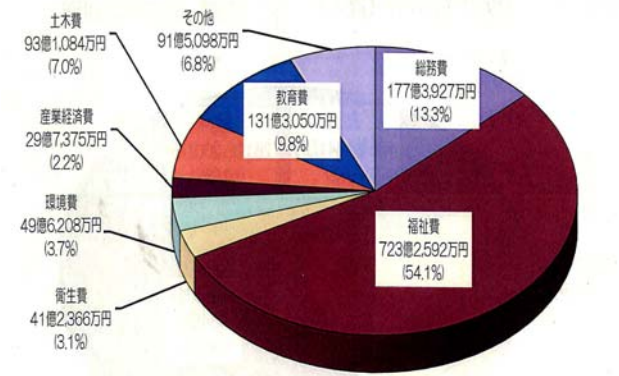
平成26年度各会計予算が決定



平成26年度一般会計当初予算(歳入) 予算額 1,337億1,700万円



平成26年度一般会計当初予算(目的別歳出) 予算額 1,337億1,700万円

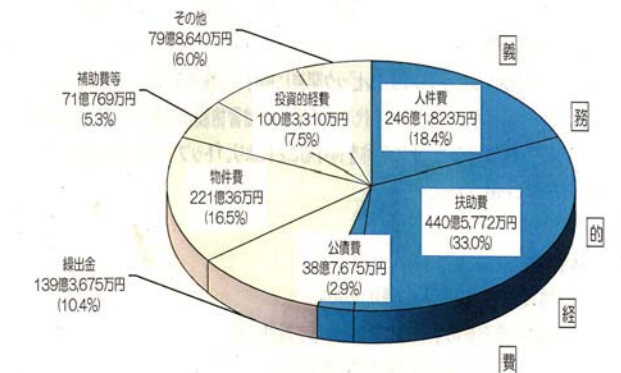


平成26年度各特別会計予算

単位千円

国民健康保険会計	¥40,543,303-
中小企業従業員退職金等 共済事業会計	¥181,000-
介護保険会計	¥27,128,543-
後期高齢者医療会計	¥7,937,997-

平成26年度一般会計当初予算(性質別歳出) 予算額 1,337億1,700万円



被ばく線量公表せず過日の新聞記事に目がテンになった。避難指示の解除予定地域で昨年実施された個人線量計による被ばく線量調査の結果公表を見送っていたとの記事でありました。これは特に大半が一ミリシーベルト台になると想定していたK村

ひとり言

の推定値が二六〇六・六ミリシーベルトと高かったため関係者間で「インパクトが強すぎる」「住民の帰還を妨げかねない」等の意見が交わされた為、結果非公評となったようです。調査を行ったのは内閣府原子力被災者生活支援チームとの記事でありました。それだけでなく復興計画も思うように進まず、相変わらず風評被害にも苦しんでいる、生活再建もままならない福島の方々に追いつけかけられるような仕打ちとも思えます。原発事故の終焉が近いどころか「こっちも具合悪い」「あっちも具合悪い」と、まるでモグラたたきの様相である。現場作業員の苦勞をも思うため息ばかりです。

緊急防災対策事業として、防災行政無線による放送、ケーブルTVによるデータ放送、ホームページ、携帯電話等へのメール配信、等々様々な手段を用い情報提供システムの構築がなされています。しかし既存システムでは対応しきれない場面も想定され、今回臨時災害FM放送局システムを構築するものです。阪神淡路大震災やその後の大災害時に草の根の支援情報などを提供できるなど地域生活密着型の情報提供システムとして有用性が実証されています。FM災害時に備え放送局(発信機)システムを、災害時に即使用できるように準備をするものです。FM放送対応受信設備としては、災害対応の手回し発電式ラジオや、FM付小型ラジオなどで受信できます。

臨時災害FM放送局のシステム設置

ひとりで悩むその前に・・・まず電話!

教育・福祉・生活相談は池田ひろ一事務所へ

北区赤羽北 1-3-1

tel 3907-0669 fax 3907-0943

ホームページ <http://www.ikedahiroichi.jp/>

Eメール fukurou@ikedahiroichi.jp

十条跨線橋架替え

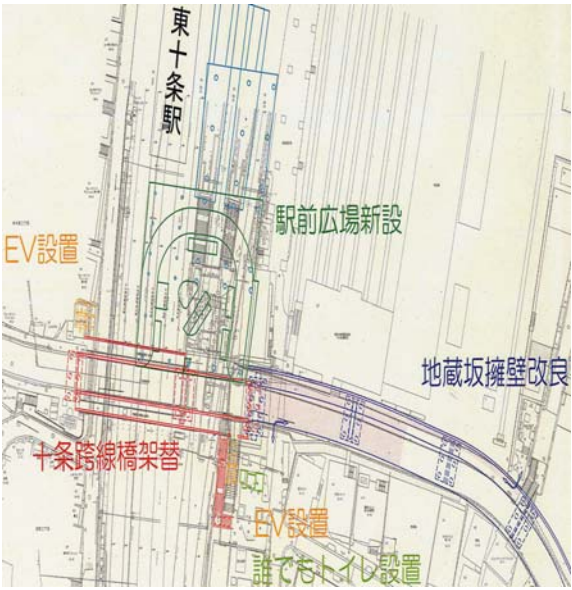
駅前広場整備昭和二年に架設された十条跨線橋は、平成十九年度実施の調査で耐震強度不足と判定されました。そのため、十条跨線橋の架替えとなるものです。東十条南口への駅前広場新設は、都市計画マスタープラン二〇二〇に基づき整備する。整備に合わせエレベーター設置（中十条方一基、東十条方一基）東十条駅高架下公衆トイレのバリアフリーも行います。取付道路である地蔵坂は盛土部擁壁の著しい老朽化もあり大規模な改良が必要になりました。今後の予定

＊平成二十六年度東十条南口駅前広場基本設計（JR委託）

＊平成二十七年度空港跨線橋詳細設計（JR委託）東十条南口駅前広場詳細設計（JR委託）地蔵坂擁壁改良詳細設計（JR委託）

＊平成二十九年度工事着工

＊平成三十五年年度工事完了



特別養護老人ホーム

旧北園小学校跡地の特別養護老人ホーム及び認可保育所の整備・運営事業者が決定いたしました。現在の特別養護老人ホーム浮間さくら荘の指定管理者である社会福祉法人東京都福祉事業協会に決定いたしました。今後の予定

＊平成二十六年七月東京都の特養の補助協議

＊平成二十七年東京都特養補助内示、着工

＊平成二十九年四月特別養護老人ホーム認可保育所開設



区営シルバーピア

旧北園小学校跡地に建設するシルバーピアの計画概要は、

＊供給戸数七十五戸

（約三十五㎡／戸、一DKタイプ）

＊構造及び規模鉄筋コンクリート造地上五階程度

＊付随諸室
管理事務室、LSA相談室、団らん室

今後の予定

＊平成二十六年既存建物除去工事、基本及び実施設計、崖地補強工事、ボーリング調査

＊平成二十七年～二十八年度建設工事

＊平成二十九年九月シルバーピア（区営住宅）入居

地域密着型サービス

地域密着型サービスは、定期巡回・随時対応型訪問看護の事です。これは日中・夜間を通じ、定期的な巡回訪問または随時通報を受け、居宅において介護福祉士等が日常的な世話をを行うとともに、看護師などが療育上の世話又は必要な診療の補助を行います。その地域密着型サービスの事業予定者が決定しました。

＊運営事業予定者宝ケア株式会社

＊事業開始予定平成二十六年四月一日

＊事業実施地域赤羽圏域を中心に実施

桐ヶ丘体育館

当体育館は東京オリンピックを記念して昭和四十一年二月に桐ヶ丘の地に開設されました。

アリーナ（バスケット・バレーボール・卓球・体操・バドミントン等に利用）、柔道場、剣道場、トレーニングルーム等に利用できる体育館に



テニスコート、弓道場をも併設する総合体育施設として多くの方に利用されてきました。開設後約五十年にもなるうとしていきます。近年老朽化も著しく、また雨漏りもあり、徐々に使い勝手も悪くなっています。改修より改築の時期ともなっています。

私は近隣の適地に新たな体育館を建設し、待望久しい区民センターをも合築し、高齢者の方々がより充実した生活がおくれるような「老人いこの家」（現在志茂・滝野川・名主の滝の三箇所にあります）をも併設した、総合的施設の整備を検討・実現させるべきと考えられています。皆様のご意見等をお寄せください。